

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2023年1月~3月期)

- 調査対象** 100事業所 (有効回答数82社、回答率82%)
- 対象期間** 2023年1~3月期実績 及び 2023年4~6月期の見通し
- 調査結果の概要**

全業種とも仕入単価DI値は、マイナス圏内となっており、4~6月の先行きについてもマイナスの見通しとなっている。製造業の資金繰りについては、前回調査に比べると順調だが今後の見通しは悪化となっている。

新型コロナウイルスの経営に与える影響については、悪影響が35%、今後悪影響が12%、合計で47%になっており、前回調査に比べると好転している。国や県、市の新型コロナウイルス支援策の利用は、利用したが48%、今後利用するが15%、合計で63%となっている。

経営上の問題点については、多い順に「需要の停滞」「人件費の増加・圧迫」「単価の低下・上昇難」「ニーズの変化」「経費増加」となっているが、特に小売業と建設業は「需要の停滞」がもっとも多く、サービス業では「ニーズの変化」が多く散見された。

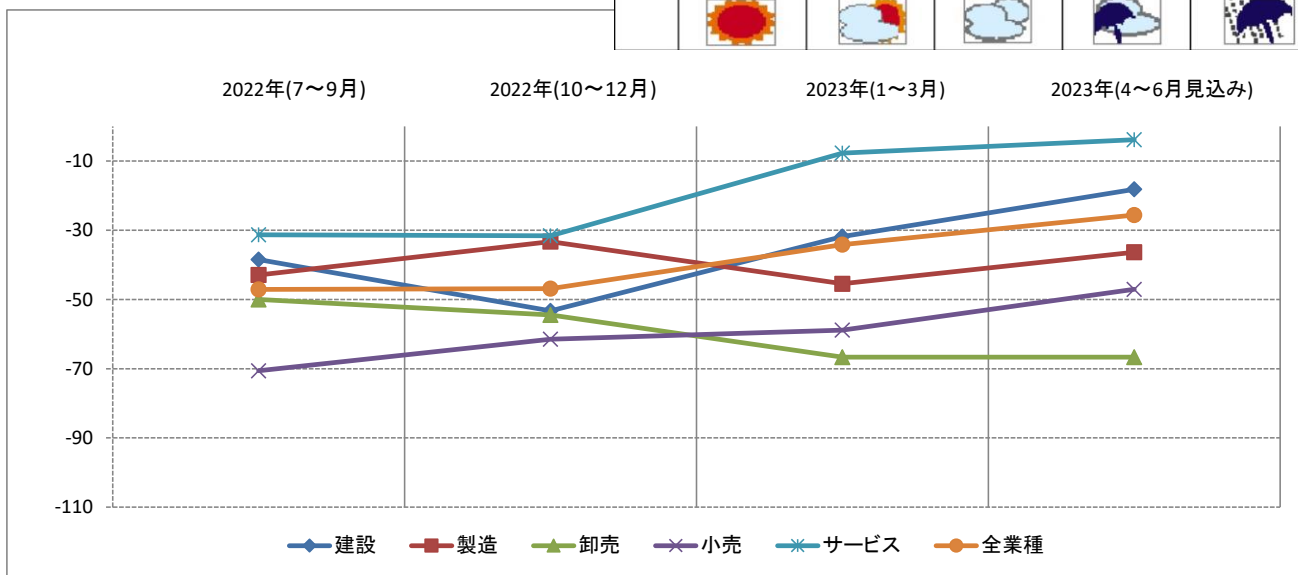
設備投資の実施については、今期は「OA機器」が最も多く、来期では「生産・販売等の機械設備」の多く予定されている状況。

4. 業種別項目別のDI値※ () は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 13.6 (△ 9.1)	18.2 (△ 27.3)	△ 83.3 (△ 50.0)	△ 52.9 (△ 35.3)	△ 7.7 (△ 3.8)	△ 20.7 (△ 18.3)
仕入単価	△ 68.2 (△ 77.3)	△ 81.8 (△ 54.5)	△ 83.3 (△ 83.3)	△ 58.8 (△ 76.5)	△ 26.9 (△ 42.3)	△ 56.1 (△ 63.4)
採算	△ 45.5 (△ 54.5)	18.2 (△ 27.3)	△ 66.7 (△ 50.0)	△ 23.5 (△ 47.1)	△ 26.9 (△ 19.2)	△ 28.0 (△ 37.8)
資金繰り	△ 13.6 (△ 9.1)	27.3 (△ 27.3)	△ 66.7 (△ 66.7)	△ 41.2 (△ 35.3)	△ 7.7 (△ 3.8)	△ 15.9 (△ 17.1)
従業員数	4.5 (0.0)	0.0 (9.1)	0.0 (0.0)	△ 5.9 (△ 5.9)	7.7 (7.7)	2.4 (2.4)
業況	△ 31.8 (△ 18.2)	△ 45.5 (△ 36.4)	△ 66.7 (△ 66.7)	△ 58.8 (△ 47.1)	△ 7.7 (△ 3.8)	△ 34.1 (△ 25.6)

5. 業況DI値の推移

DI値	50 ≤ DI	25 ≤ DI < 50	0 ≤ DI < 25	▲25 ≤ DI < 0	DI < ▲25
	とくに順調	順調	変わらず	悪化	きわめて悪化



6. 新型コロナウイルスの経営への影響

悪影響	今後悪影響	影響はあったが回復	影響なし
35%	12%	30%	23%

7. 新型コロナウイルスに関連した支援策の利用状況

利用した	今後利用する	利用予定なし
48%	15%	37%